

（株）山本製作所（山形県東根市）タンザニアの農業課題解決へ！ 循環形乾燥機の実証事業開始 ～JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業に採択～

独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、株式会社山本製作所（代表取締役：山本文実、所在地：山形県東根市、以下：山本製作所）が提案する「タンザニア国 循環形乾燥機による収穫後処理改善に係るビジネス化実証事業」を、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の 2024 年度公示にて採択しました。本事業には山形銀行が地域金融機関連携として参画します。

今後、山本製作所と JICA は連携し、タンザニアにおいて循環形乾燥機を実際に稼働させ、コメ胴割れ率やランニングコスト等の経済性分析、ビジネス実施体制の構築等に取り組めます。

【タンザニアの課題】

タンザニアでは、生籾収穫後の乾燥工程が品質や生産性に大きな影響を及ぼしています。特に、天日干し等に起因する胴割れや品質低下が発生し、保管時の腐敗を含め収穫後ロスが 30%程度発生していると言われています。



生籾水分の確認の様子



天日乾燥の様子

山本製作所は、これらの課題に対応すべく、籾殻燃焼炉と乾燥機の技術を活用した「循環形乾燥機」を導入します。籾殻燃焼炉を熱源とすることで、現地で廃棄されていた籾殻を再利用し、脱炭素化およびランニングコスト削減を実現します。

循環形乾燥機：

収穫後の生籾（水分含量 20～30%）を機械内部に入れ、設定水分まで穀物を循環させながら乾燥させる機器。



循環形乾燥機

本ビジネスは、タンザニアの農業生産性向上および収穫後ロス削減に寄与し、タンザニア国家稲作開発戦略が掲げる収穫後ロス削減目標の達成に貢献していきます。

◇中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

中小企業・SDGs ビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。全国の企業に広く活用していただくことで、各地の地域経済活性化にも役立つことが期待されます。

今回の 2024 年度公示では、全国で 57 件、うち東北地域では 3 件 株式会社山本製作所（山形県）、（株式会社石塚養蜂園（宮城県）、奥山ボーリング株式会社・株式会社オサシ・テクノス共同企業体（秋田県・高知県）が採択されました。

【参考】

中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

2024 年度公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/information/press/2024/20241223_41.html



～本ビジネスが達成に貢献する SDGs～



【本件に関する問い合わせ先／お申込み先】 JICA 東北 市民参加協力課 担当:吉岡・川崎

入力フォーム: <https://forms.office.com/r/HsCRWCg7pw>

TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090

